

2025年3月27日
フジテック株式会社

JR 高輪ゲートウェイ駅直結の複合再開発 「TAKANAWA GATEWAY CITY」に エレベータ・エスカレータ 92 台を納入 ～ロボット連携とエレベータ待ちの渋滞緩和システムを導入～

フジテック株式会社（本社：滋賀県彦根市、社長：原田政佳）は、2025年3月27日に街びらきした JR 高輪ゲートウェイ駅直結の複合再開発「TAKANAWA GATEWAY CITY」に、エレベータ・エスカレータ計 92 台を納入しました。

TAKANAWA GATEWAY CITY では、街全体を「100 年先の心豊かなくらしのための実験場」と位置付けて、さまざまな社会課題に取り組みます。その一つが人とロボットの共生です。エレベータにおいては、街に配備される警備、清掃、デリバリーなどのロボットとエレベータが連携して、自律的に階を移動できる仕様を採用しました。ロボットが利用するエレベータに人が誤って乗車しないよう、ロボット連携時専用の照明制御機能と音声案内を搭載し、エレベータホールで人の動きを誘導します。併せて、エレベータ待ちの渋滞を緩和する運行システムも導入し、人とロボットのスムーズな縦の移動に貢献します。



TAKANAWA GATEWAY CITY 外観



エレベータとロボット「デリロ」の
連携イメージ
(JR 目黒 MARC ビルでの実証実験の様子)

【 納入のポイント 】

1. JR 高輪ゲートウェイ駅直結の複合再開発にエレベータ・エスカレータ計 92 台を設置
2. エレベータとロボットの連携仕様を採用。ロボットが利用するエレベータに人が誤って乗車しないよう、照明と音声案内で人の動きを誘導
3. エレベータ待ちの渋滞を緩和する「EZ-SHUTTLE（イージーシャトル）」を導入

【 納入の詳細 】

1. JR 高輪ゲートウェイ駅直結の複合再開発にエレベータ・エスカレータ計 92 台を設置

TAKANAWA GATEWAY CITY は、JR 山手線の新駅として 2020 年に開業した「高輪ゲートウェイ駅」直結の新たな街です。当社はこのたび開業した 2 棟のビルに、エレベータ・エスカレータ計 92 台を納入しました。

〔納入内訳〕	エレベータ	エスカレータ	計
THE LINKPILLAR 1 SOUTH	48 台	32 台	80 台
THE LINKPILLAR 1 NORTH	8 台	4 台	12 台
合計設置台数	56 台	36 台	92 台

2. エレベータとロボットの連携仕様を採用。ロボットが利用するエレベータに人が誤って乗車しないよう、照明と音声案内で人の動きを誘導

ロボットが自動でエレベータを呼び出し、人の手を介さずに階を移動できる連携仕様を採用しました。加えて、ロボットが利用するエレベータに人が誤って乗車しないよう、エレベータ側に以下の機能を搭載しています。

- 1) 照明制御：かご内の天井照明を消灯し、視覚的に人の乗車ができないことをお知らせする
- 2) 音声案内：「ロボット専用運転中です。ご乗車はできません」とエレベータホールの利用者へアナウンスし、乗車できないことをお知らせする

周囲の利用者へ目と耳で直感的に「ロボット専用」のエレベータであることを伝え、誤って利用者が乗車して、ロボットがエレベータを利用できない事態を予防します。これにより、人とロボットの移動をスムーズにします。

■ 背景

近年、ビル管理における人手不足の解消に向けて、警備、清掃、デリバリーなどさまざまなロボットの活用が進んでいます。ロボットは、エレベータと連携して縦の移動を自律的に行うことで、活用範囲を飛躍的に広げることができます。そのため、同分野の機能開発や実証実験が活発化しています。

■ 本プロジェクト導入までの経緯

TAKANAWA GATEWAY CITY でロボット連携を実装するにあたり、2023 年に東日本旅客鉄道株式会社と共同で実証実験を行いました。JR 目黒 MARC ビル（東京都目黒区）のエレベータを使用して、クラウド接続方式によるロボット連携を検証し、人の手を介することなくフロア移動できることを確認しました。

本プロジェクトでは、人とロボットの共生に向けて、照明制御機能と音声案内を追加しました。

▽参考情報

2023 年 1 月 10 日 フジテックプレスリリース

[「ロボットフレンドリーなクラウド接続方式でエレベータとロボットプラットフォームを初連携」](#)

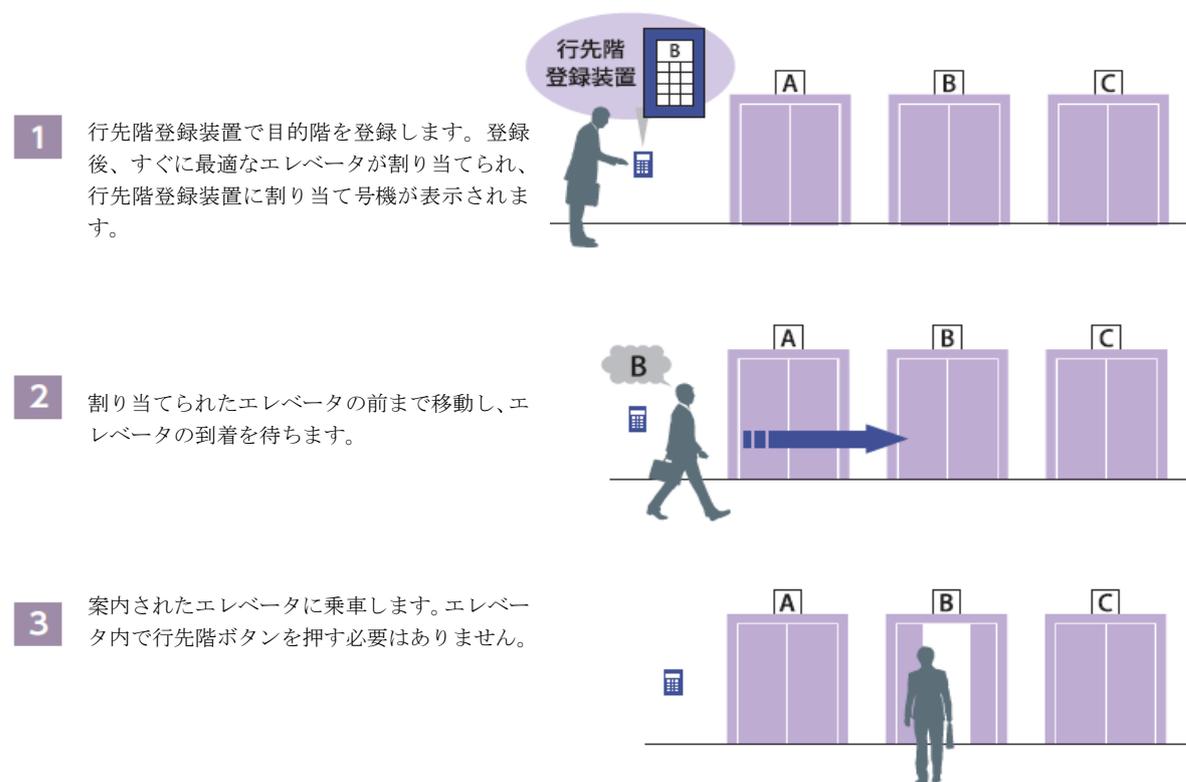
3. エレベータ待ちの渋滞を緩和する「EZ-SHUTTLE（イージーシャトル）」を導入

オフィス用のエレベータには、エレベータ待ちの渋滞を緩和する最新システム「EZ-SHUTTLE」を導入しています。セキュリティーゲートと連動して、利用者の乗るエレベータを自動で割り当てし、運行効率を高めます。

■行先階登録システム「EZ-SHUTTLE」とは？

「EZ-SHUTTLE（イージーシャトル）」は、エレベータに乗る前に利用者の目的階を登録し、運行中のエレベータに利用者を最適配分することで、エレベータの台数や定員を増やさずに、運行を効率化する仕組みです。移動時間を最大 50%*短縮できます。朝の通勤時間帯などにエレベータ待ちの渋滞が発生しやすい大型オフィスビル向けのシステムです。

※エレベータでの移動に要する時間（平均サービス完了時間）を最大 50%短縮。当社従来比。オフィスビルのシミュレーション結果。（製品データに基づく数値。移動時間の短縮効果は現場環境により異なります。）



【 TAKANAWA GATEWAY CITY 施設概要 】

「TAKANAWA GATEWAY CITY」は、品川車両基地跡地に誕生した高輪ゲートウェイ駅直結の新たな街です。南北約 1.6 キロに及ぶ都心最大級のエリアに計 5 棟の施設が建設されます。羽田空港から 15 分、関西方面の玄関口である品川駅から 1 駅というアクセス性を生かし、新しいビジネス・文化が生まれ続ける国際交流拠点の実現を目指します。

建物名	TAKANAWA GATEWAY CITY
施主	東日本旅客鉄道株式会社
所在地	東京都港区高輪 2 丁目 21
施設内訳	<p>THE LINKPILLAR 1 SOUTH (地下 3 階、地上 30 階) THE LINKPILLAR 1 NORTH (地下 3 階、地上 29 階) —オフィス、ホテル、商業、コンベンション・カンファレンス、保育園、ビジネス創造施設 (2025 年 3 月 27 日開業)</p> <p>THE LINKPILLAR 2 (地下 5 階、地上 31 階) —オフィス、商業、フィットネス、クリニック (2026 年春開業予定)</p> <p>MoN Takanawa: The Museum of Narratives (地下 3 階、地上 6 階) —複合文化施設 (2026 年春開業予定)</p> <p>TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE (地下 2 階、地上 44 階) —住宅、インターナショナルスクール (2026 年春開業予定)</p>

【 サステナビリティについて 】

当社は、サステナビリティ推進において 6 つのマテリアリティを設定しています。本リリースの取り組みは、マテリアリティ「“安全・安心”の追求」、「技術・商品力の向上」に該当します。

マテリアリティ	SDGs ゴール	主要テーマ
技術・商品力の向上	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	美しい都市機能の実現
		新しい時代にふさわしい技術革新
		強靱な社会インフラの提供

フジテック公式ウェブサイト「[サステナビリティ](#)」

【 フジテックについて 】

フジテックは、エレベータ・エスカレータ・動く歩道の専門メーカーです。研究開発・製造・販売・据付・保守・リニューアルまで一貫体制で行い、世界 24 の国と地域に“安全・安心”で“快適”な移動空間を提供しています。

設立 : 1948 年 2 月 9 日

上場市場 : 東京証券取引所 プライム市場

公式 HP : <https://www.fujitec.co.jp/>

【 本件に関する報道機関からのお問い合わせ 】

フジテック株式会社 広報室

TEL : 03-4330-8233 FAX : 03-4330-8220